

平成30年度使用小学校の教科用図書

研 究 資 料

平成29年7月

教科 特別の教科

種目 道徳

平成30年度使用小学校教科用図書研究報告書

教科 特別の教科	種目 道徳						
発行者番号・略称		教科用図書番号					
2・東書		1年	2年	3年	4年	5年	6年
		131	231	331	431	531	631

(1) 内容の特徴及び表現

- ・新学習指導要領に即した内容構成になっており、4つの視点における内容項目のバランスもよく配置されている。特に情報モラルや、安全防災に関する内容など、今日的課題も扱っている。各教材は、各学年の発達段階を踏まえており、登場人物の道徳的な行為を多く含んだ教材が充実している。また、児童に内容がよく伝わるように、低学年では挿絵を多く入れたり、どの学年でも写真を取り入れたりしている。
- ・「問題を見つけて考える」「考えるステップ」など、児童が問題意識をもって学習できるように、問題や、考えるための手引きが示されている箇所が随所に見られる。また、学習を通して考えたことや新たに分かったことを確かめたり、学んだことをさらに深く心に留めたり、これからへの思いや課題について考えたりできるようになっている。
- ・どの学年の教科書にも、「主として他の人とのかわりに関すること」の内容において、「出会う・ふれ合う」という項目を入れて、カード・シート・賞状・振り返りカードなどで、学習したことが生活に生きるように工夫されている。
- ・道徳科と、各教科・領域が、十分に関連をもって機能するように「つながる・広がる」という項目を入れている。

(2) 教材の構成・配列及び分量

- ・各学期の終わりに、道徳の授業を振り返ることができるように、教科書の最後に「学習のふり返り」のページを設けている。そのページに記録を残すことで、「自分がどんなことを考えたか」、「これからどうしていけばよいか」など振り返ることができ、1年間の学習を意識した構成になっている。

(3) 使用上の便宜等

- ・イラストの表情が分かりやすく、内容を理解する助けとなっている。
- ・字の大きさが、学年相応となっており、本文の書体は、筆使いや字形を手書きの文字に近づけた少し太めの教科書体になっており、読みやすい。
- ・4つの内容項目をマークと色で分け、目次と題材のページに反映している。

(4) 総合所見

全学年を通して、児童の心に訴え、しっかり考えることができる教材が使用されているとともに、考えを深化させる構成の工夫が見られる。問題解決学習を行うのに適している。また、今日的課題や人とのつながりや他教科との関連を意識したページも織り込まれているため、道徳の授業を様々な教育活動につなげやすく、道徳的実践力の育成を図りやすい。また、文字の大きさも適切であり、挿絵もイメージを広げやすいため、児童は教材の世界に入りやすい。

平成30年度使用小学校教科用図書研究報告書

教科 特別の道徳	種目 道徳						
発行者番号・略称		教科用図書番号					
11・学図		1年	2年	3年	4年	5年	6年
		132	232	332	432	532	632

(1) 内容の特徴及び表現

- ・どの学年にも「読みもの」と別冊の「活動」がある。「活動」は、「読みもの」と一緒に使うことができ、考えを深めていくための発問があるが、イラストや写真があり、自分の考えを書くためのスペースが少なく記入しにくい。しかし、4つの視点ごとにまとめてあるので学習内容が分かりやすい。
- ・「活動」の終わりのページに「活動の資料」が載せてあることで、授業の中で話したり、聞いたり、話し合ったり、話の中の場面の様子を確かめ合ったりするときの参考になる。また、「保護者の方へ」のページで、教科書のめざすことを掲載し、学校が家庭と共に補い合い連携しながら、一貫した道徳教育を進める一助となっている。
- ・「活動」の同じ価値項目の最後のページに発問があることで、道徳の時間に習得した道徳的価値を、日常生活につなげていくための工夫が見られる。
- ・1～6年まで、同じ項目で「読み物コラム」があり、系統立てた指導ができるよう配慮されている。
- ・それぞれの学年の内容項目の読み物が、様々なジャンルから発達段階に即して選ばれており、児童が興味深く読み進めていける。

(2) 教材の構成・配列及び分量

- ・低学年は挿絵が多く、高学年になるほど文が長くなるなど、学年に応じた読み物になっている。
- ・各教科、外国語活動、総合的な学習の時間及び特別活動などにおける道徳教育を、道徳の内容との関連でとらえ、道徳の時間が要としての役割ができるよう教材がバランスよく構成されている。

(3) 使用上の便宜等

- ・「活動」の「考えよう」に「読みもの」と同じ挿絵があることが、その話を思い出し、自分の思いをもったり考えを深めたりする一助となっている。
- ・1年生が読むには字が少し小さく読みづらい。
- ・最後に「道徳の学習をふり返ろう」というページがあり、感想をマークで書いたり、学習した日にちを書いたりできるようになっていて、自分で学習を振り返ることができる。

(4) 総合所見

「読みもの」と「活動」の2冊で構成されており、「読みもの」の構成がすっきりしている。「活動」は内容項目ごとにまとめられており、児童にとってわかりやすい。ただし、「読みもの」に対する発問が別冊になっていることで、扱いつらさを感じる面もある。「活動」の内容が多すぎるため、記入するスペースが限られてしまっている。

平成30年度使用小学校教科用図書研究報告書

教科	特別の教科	種目	道徳				
発行者番号・略称		教科用図書番号					
17・教出		1年	2年	3年	4年	5年	6年
		134	234	334	434	534	634

(1) 内容の特徴及び表現

- ・多様で体験的な学習ができるように、モラルスキルトレーニング、役割演技等が随所に取り入れられており、基礎的・基本的な知識及び技能が着実に身につくように配慮されている。
- ・各教材には、それぞれの学習課題が示され、「学びの手引き」として、考えたり話しあったりするポイントが示されており、課題解決的学習の中で、道徳的価値をより深く、多面的・多角的に考えられるように工夫されている。
- ・新学習指導要領に即した内容構成になっているとともに、1年「はしの上のおおかみ」、4年「ブラッドレーのせい求書」6年「手品師」など、これまでも使用されている教材が多くあり、心に響き、充実した学習が期待できる。
- ・巻頭に「道徳開き」、巻末には学習の「振り返り」のページがあり、年間を通しての継続的な学びを意識した構成になっている。
- ・偉人やスポーツ選手の扱いが多く、それぞれの生き様に学ぶことは意義があることだと考えるが、5・6年では偉人の扱いが多すぎるようにも思える。

(2) 教材の構成・配列及び分量

- ・4つの視点の内容をバランスよく配置されている。また、感動的な教材や多様な考えが出されるような教材も取り上げられている。
- ・内容項目の割合は、「希望と勇気」「伝統や文化の尊重、国や郷土を愛する態度」「よりよく生きる」が多く、「相互理解、寛容」の割合は少ない。

(3) 使用上の便宜等

- ・横広で、挿絵や写真など大きく表され、それぞれがいずれも鮮明かつ明るく、親しみやすい。
- ・用紙の色は白で明るいですが、若干紙質が薄く、ページをめくりづらい。

(4) 総合所見

新学習指導要領に即した内容構成とバランスのよい学年別配列であり、紙面構成も課題解決的学習の中で、道徳的価値をより深く、多面的・多角的に考えられるように工夫されている。

また、挿絵や写真も親しみやすい。ただ、5・6年での偉人関係の教材が多かったり、内容項目の、「相互理解、寛容」「公正、公平、社会正義」の内容が少なかったりするなど、若干特色が強いため、学校の実態によっては指導の工夫が必要である。

平成30年度使用小学校教科用図書研究報告書

教科 特別の教科	種目 道徳						
発行者番号・略称		教科用図書番号					
38・光村		1年	2年	3年	4年	5年	6年
		135	235	335	435	535	635

(1) 内容の特徴及び表現

- ・新学習指導要領に即した内容構成になっており、低中高それぞれの発達段階に応じた教材が選定されている。また、その後の展開を想像し、個々に考えたことを話し合ったり、役割演技をしたりするなど、多角的、多面的に捉える工夫も随所に見られる。
- ・学習のてびき「考えよう」には、「あなただったらどうしますか。」などの問題解決的な問いが配されており、課題解決的な学習が期待できる。また、各教材には学習のめあてを意識した吹き出しがあるが、これは、多面的・多角的に考える際には有効だが、授業をするうえでは、内容項目に迫るほうが扱いやすい。
- ・年間を4つのまとまりに分け、区切りごとに、学習を振り返ることを意識して作られている。その際、「学びの記録」として、学んだことや自分の心の変化を自由に書き留め振り返ることができるページが設けられており、年間を通しての学習が意識されている。
- ・1年「かぼちゃの つる」、2年「ぐみの木と小鳥」、3年「よわむし太郎」、4年「雨のバス停留所で」、5年「一ふみ十年」、6年「手品師」など、長年使用されてきた教材も多く掲載されており、心に響く学習が期待できる。
- ・物語教材だけでなく説明文も掲載されているが、難解で抽象的な面も見られ、児童にとって効果的な教材であるとは考えづらい。

(2) 教材の構成・配列及び分量

- ・「生命を大切に思う心」の育成に重点が置かれ、全学年に三つずつ、「生命の尊さ」をテーマにした教材が掲載されている。また、「個性の伸長」「感謝」「公正、公平、社会正義」「生命の尊さ」は、相対的に配当が多い。

(3) 使用上の便宜等

- ・用紙の色が柔らかい白色で、活字も教科書体を使用しており、イラストも落ち着いた印象であるが、活字はやや小さく、紙面構成は全体的に地味である。児童の興味・関心を引くことができるかどうか疑問である。また、現在使用している国語教科書とレイアウトがよく似ており、児童が混同することも予想される。

(4) 総合所見

新学習指導要領に即した内容構成になっており、低中高それぞれの発達段階に応じた教材が選定されている。また、対話を通して、多面的・多角的に捉える工夫も随所に見られる。しかしながら、教材が難しい印象を受けたり、紙質やイラストが控えめで児童の興味を引きにくかったりする印象は否めない。

平成30年度使用小学校教科用図書研究報告書

教科 特別の教科	種目 道徳						
発行者番号・略称		教科用図書番号					
116・日文		1年	2年	3年	4年	5年	6年
		136	236	336	436	536	636

(1) 内容の特徴及び表現

- ・道徳のオリエンテーションとして、巻頭見開き2ページの「道徳のとびら」で、学習内容、学習方法が示され、主体的な学習を促すための工夫がある。
- ・導入、展開、終末での問いが掲載されている。
- ・主題、題名が示され、あらすじ、登場人物の顔の絵があり、学習の手がかりとなる。
- ・ココロウ、4つの視点の印、4人の児童などキャラクターで考える視点を分かりやすく表している。
- ・発展的な学習につながる「心のベンチ」が設けられており、より深く考えられるよう工夫されている。
- ・教材の後に「学習の手引き」が設けられており、写真などで示された問題解決的な学習や道徳的行為に関する体験的な学習に活用できるようになっている。
- ・情報モラル教育やいじめの問題、安全なくらしなど、現代的な課題を扱うようになっている。
- ・道徳ノートにより、自分の考えだけでなく、友達の考えも書く欄がある。学習の振り返りとして3つの観点で自己評価をするようになっており、教師にとっては児童の考えを把握しやすく、児童にとっては学習の記録となるよう工夫されている。また、保護者記入欄もあり、保護者が児童の学習した内容を確認できる等、家庭などでも活用できるようになっている。ただし、ノートに発問が示されているため、授業の流れが限定されてしまう可能性がある。

(2) 教材の構成・配列及び分量

- ・教材は、学習指導要領の内容に合わせて、適切に構成され、バランスよく配分されている。
- ・全体の分量は適切である。

(3) 使用上の便宜等

- ・児童にとってわかりにくい用語については欄外に簡潔な解説が設けられている。
- ・イラストを大きく扱い、文字の大きさや書体、色使い等のレイアウトの工夫が見られる。

(4) 総合所見

新学習指導要領に即した内容構成になっており、現代的な課題に関わる題材があり、現代社会の様々な課題を身近な問題と結びつけて考えることができるようになっている。問題解決的な学習や道徳的行為に関する体験的な学習として取り組める工夫も随所に見られる。しかしながら、ノートに発問が示されている等、授業構成の自由度が低くなることも考えられる。

平成30年度使用小学校教科用図書研究報告書

教科 特別の教科	種目 道徳						
発行者番号・略称		教科用図書番号					
208・光文		1年	2年	3年	4年	5年	6年
		138	238	338	438	538	638

(1) 内容の特徴及び表現

- ・新学習指導要領に即した内容構成であり、発達段階に応じた教材である。
- ・道徳のオリエンテーションとして、内容項目4つの視点、学習の流れが示されている。主体的・対話的で深い学びへと促すための工夫がある。
- ・「問いをもつ・考える・まとめる・広げる」として、導入・展開・終末などの問いが示され、自分自身の経験を想起しやすくなっており、本時の主題に対するねらいや流れを意識することができるように工夫されている。また、4つの視点の印を教材ごとに示したり、キャラクターの吹き出しを使用したりするなど、学習活動がスムーズに行えるようにしている。
- ・オープンエンドの教材を取り入れたり、「問題解決的な学習」や「道徳的行為に関する体験的な学習」などが示されたりしており、多様な学習方法につながるができる。
- ・情報モラル教育やいじめの問題、防災教育など、現代的な課題に関する指導ができ、現代社会の様々な課題を身近な問題と結びつけて考えることができるようになっている。
- ・複数教材で関連的な学習や他教科など発展的な学習につながるような工夫がなされている。
- ・巻末の「学びの足あと」では、学習後の実践意欲を矢印や言葉で記述し、授業の記録を残すことができるようにしている。

(2) 教材の構成・配列及び分量

- ・教材は、学習指導要領の内容をもれなく扱い、教材を適切に構成・バランスよく配分されている。
- ・全体の分量は適切であるが、1ページに文・挿絵・イラストなどの情報量は多く感じる。

(3) 使用上の便宜等

- ・見開き2ページや4ページであり、右のページから学習が始まるので、読みやすく工夫されている。
- ・小3までは全ての漢字にふりがながつけられている。

(4) 総合所見

道徳の学習の学び方を示したり、発問の工夫により主題に対する問題意識をもたせたりして、自己を見つめ、自己の生き方について考えを深める主体的・対話的な学習に取り組むことができるようになっている。また、現代的な課題を多く扱っているため、現代社会の様々な課題を身近な問題と結びつけて考えることができるようになっている。しかしながら、1ページにおける情報量が多く、繁雑な印象を受けるページも見られる。

平成30年度使用小学校教科用図書研究報告書

教科 特別の教科	種目 道徳						
発行者番号・略称		教科用図書番号					
224・学研		1年	2年	3年	4年	5年	6年
		139	239	339	439	539	639

(1) 内容の特徴及び表現

- ・「道徳の学習がはじまるよ」のページでは、学年の発達段階に応じた書き方で道徳の学習の見通しがもてるように道徳の授業の「学び方」が示されている。
- ・教科書の随所に、教材の学習後に適した「深めよう」「広げよう」「つなげよう」「やってみよう」があり、学習を深めたり広げたり、また役割演技など体験的な学習も組み込まれている。
- ・〈お話しの前に〉というページがあり、導入として子ども達の考えを深めることに繋がる工夫がある。
- ・情報モラルに関する教材が現代的な課題にそってとても分かりやすく、該当学年の児童に実際おこりうる内容であり、生活で学習したことを生かしていくことができるものになっている。
- ・教材の最後には、「考えよう」の欄が設けられており、発問が示されていてわかりやすいが、やや難易度の高い発問が含まれている。
- ・「考え議論する道徳」へ繋げるために、異なる複数の意見を掲示して比べて考えさせるページがあり、他者の意見を多面的・多角的にとらえられる工夫がなされている。
- ・考えてから自分の意見を発表できるように、教科書に自分の考えを書く欄が設けられている教材がある。

(2) 教材の構成・配列及び分量

- ・全学年で「いのち」に関する教材が連続して配列されており、命について多面的に考えるための単元として授業を構成できるようになっている。
- ・低学年「自分のこと」中学年「人との関わり」高学年「人から学ぶ」のテーマで複数時間扱いの授業が構成できる配列になっており、いじめ防止を重視している。

(3) 使用上の便宜等

- ・教科書が大きくて扱いにくい面もあると思うが、その分、高学年になって文字が大きく読みやすい。
- ・文章量に対して絵が大きすぎたり、表情がはっきり書かれすぎていたりしてイメージを広げにくい。
- ・文の下に行数が書かれており、分かりやすい。
- ・もくじの数字が内容ごとに色分けされていて、一目見て分かるようになっている。また、内容ごとにグルーピングされた目次のページもある。

(4) 総合所見

現代の社会や子どもを取り巻く課題を取り上げながら身近な話題を意識した教材が多く掲載されている。また、児童が考えを、広げたり、深めたり、実践に繋げたりできるように様々な工夫がなされている。しかし、発問にやや難しく考えにくいものが含まれていたり、挿絵のインパクトが強すぎたりして、児童が考えを広げにくくなるものも見受けられる。

平成30年度使用小学校教科用図書研究報告書

教科 特別の教科	種目 道徳						
発行者番号・略称		教科用図書番号					
232・廣あかつき		1年	2年	3年	4年	5年	6年
		140	240	340	440	540	640

(1) 内容の特徴及び表現

- ・イチローや横山由美佳、羽生結弦、福原愛など身近なスポーツ選手を扱う教材が多く、児童の興味を引きイメージしやすい。
- ・3年生以上には、教材の最後に「学習の道すじ」（授業のねらい）があり、その後に3～4つの発問が書かれており、ノートも付いていて若手の先生も授業を構成しやすくなっている。その発問のあとには「学習を広げる」という項目があり、学校や家庭での体験的な活動を通して思考を深めることができるようになっている。
- ・「道徳の時間はこんな時間」のページがあり、児童に道徳のあり方を伝えようとしているが、図解等はされていないため少し分かりにくい。

(2) 教材の構成・配列及び分量

- ・情報モラル教育や国際理解教育など現代的な課題に関わる題材がどの学年にも盛り込まれている。
- ・情報モラル教育に関しては、中学年以上では巻末に特設ページがあり、発達段階に応じて教育活動の中で柔軟に扱うことができるが、やや難易度が高い。

(3) 使用上の便宜等

- ・教科書の最初の目次は、ページ順に並んでおり、最後のページには4つの視点別に題名がグルーピングされている。
- ・ノートがついており、内容項目ごとにページがまとまっている。そのため、前回の学習を振り返りながら2回目の学習を進めることができる。また、ノートに書くことの自由度が高く柔軟に利用できるようになっている。評価にも有効的につかうことができる。
- ・ノートにおいては、教材数に対して記入欄が足りないページも若干見られ、高学年になると書く分量（行数）が足りないことも懸念される。
- ・ノートの最後に「書いたページにこの紙をはさんで、先生に差しましよう」が付いていて便利である。
- ・絵と文の配置が工夫されており、全体的にすっきりと見やすい。また、挿絵が後ろ向きの姿で想像しやすい。
- ・文の下に行数が書かれておらず、分かりにくい。
- ・教科書のサイズが扱いやすい。

(4) 総合所見

全体的にすっきりとしたデザインで見やすく、スポーツ選手を扱う等、児童の興味を引く教材も多い。また、発問が細かく設定されており授業が構成しやすくなっている。しかしながら、情報モラル教育に関する題材の難易度がやや高く、またノートに記入欄が足りない等、使いにくい部分が若干見受けられる。